



「安高A B C」を実践しよう！

(A)あたり前のこと

(B)バカにしないで、

(C)ちゃんとやる！



進路部長の菅野です

さて、みなさんは中学校でできていたことが、安高でできなく（やらない）なっていますか？ あいさつ、返事、相談、報告、連絡、係の仕事、清掃、整理整頓、etc. ちゃんとできていますか？ 時間、ルール、提出期限、etc. 守っていますか？ 何かをやらなくても、守らなくても「ま、いっか！」が増えて、自分に甘くなっていますか？ この「ま、いっか！」の積み重ねが自分を弱くします。大事なところで、踏ん張ることができない自分になってしまいます。

だから、『あたり前のこと、バカにしないで、ちゃんとやる』ようにして、

「ま、いっか！」を減らし、自分に厳しくなりましょう。負荷をかけましょう。

そして、強くなりましょう。自分を強くできるのは自分自身です。

○「2年生のⅡ期」がもつ意味を理解していますか？（140期へ）

10月は二者面談を行いました。話を聴くと、少しずつ自分の進路について地に足がついた形で考えられるようになっているようです。進学校では修学旅行が終わると、3学年0学期という位置づけで、進学指導を本格化させます。安高も同じです。模試は11月から5教科になります。志望校の成績判定もよりリアルになってきます。厳しい現実がみなさんに突きつけられるのが、「2年生のⅡ期」です。その現実を正面から受け止め、自分の学習態度、学習計画を見直し、3年生での飛躍のために確かな学力を身に付けていくのも「2年生のⅡ期」なのです。「受験勉強は部活を引退してから…」と、もし考えているなら、それは安易で古い考えです。2年生の冬の学習状況と、第一志望校の合否状況には強い相関があります。「2年生のⅡ期」を無為に過ごすことの無いように。学びは自分のためです。でも、修学旅行は思いっきり楽しんできてくださいね！

○「すでに受験は始まっている」のを理解していますか？（141期へ）

大事なものは、授業です。授業での学びがすべての学びのベースになります。

教科書を大切にしてください。基礎基本は教科書から出発しています。まずは、定期考査でしっかりと点を取ること。考査で身に付けた知識を忘れないこと。それが模試の成績につながります。特別な方法などはありません。

40

これからの取り組みで大切なこと！

基礎・基本（＝授業）を大切に！

入試で問われる内容は、高校の授業の中にある。授業（基礎・基本事項）の理解度が合否を分ける。

難関大に受かる生徒は、特別な知識を持っている人達ではない。基礎・標準的な問題をしっかり得点につなげることができる生徒である。

大学入試は高校の授業・学習の延長線上にある。

「予習」→「授業」→「復習・質問」の習慣をつけ、「漏らさず学び取る」姿勢で「授業」を受け、「復習（理解・定着）」を徹底する。定期試験前のような勉強習慣では大学受験には通用しない。



ぐだうねエ理由で…その槍を噛み殺してるバカをおれは知ってるがね…… ONE PIECE 赫足のゼフ

139期の皆さんに、今アドバイスできること。それはやっぱり、

継続は力なり、反復は飛躍なり。そして、学問に王道無し。です。

今ここで不安に駆られて、何かを変えるべき時ではありません。

ここまで自分の信じて、貫き通すべき時です。誰もが揺らぐ時期です。

安高生が辛いなら、他の高校生はもっと辛いはずです。ここは我慢の時。辛抱しましょう。

さて、前月号では、君たちの「答案の雑さ」について指摘しましたが、幾分かは解消できたでしょうか？

君たちが目指す大学は、ごまかしか利きません。ラッキーもありません。実力のある者のみが合格できる大学です。目の前の1問1問を納得して解き切ってください。



第2回進路希望調査での疑問にお答えします

① 私大受験校はいつまでに決めればよいですか？

回答：私大の出願が12月中旬から始まりますので、11月末までには決めておきたいところです。

出願には調査書が必要になりますが、すぐには発行できませんので計画的に準備しておいてください。ちなみに、共通テスト利用で出願する場合は共通テストの受験票が届いてからの出願になります。宿舎の手配もお早めに。

② 私大受験校はどうやって決めればよいですか？

回答：基本的には、「チャレンジ・身の丈・滑り止め」のレベルで考えるとスッキリします。第1志望とする国公立大のレベルに相当する私大がどこかは、大体決まっています。ちなみに、私大の合格確率を上げるには、地方受験ではなく一番定員の多い現地受験がオススメです。受験日程も余裕を持たせてください。

③ 共通テストの勉強はいつ頃から本格的に取り組めばよいですか？

回答：難関大学を目指している人は、ここまで2次試験の勉強に勤しんできたと思います。

11月の中旬頃から、共通テストを視野に入れた勉強も取り入れましょう。記述力があれば、マーク形式は、いわば慣れの問題ですので、2ヶ月もあれば十分対応できます。考查が終われば、共通テスト対策も授業で取り入れると思いますので、有効に活用しましょう。受験勉強の基本は「記述」です。大学別模試と校内模試の成績データをしっかり分析してください。

④ 国公立大の後期受験はどうやって決めればよいですか？

回答：共通テストの出来次第で、前期出願校も変わる可能性があり、それによって後期出願校も変わります。前期も後期もA B判定の中から出願するのがセオリーです。2次試験の配点が共通テストより高い場合は判定Cでの前期出願も十分考えられます。その時の後期は確実に合格できる大学に出願したいものです。

忘れないで！ 受験は「手続き」と「学力」です

48 あきらめて科目を絞っても成績は伸びない！

48 現役生に多い成績推移

【9月】第1回駿台・ベネッセ大学入学共通テスト模試 から
【11月】第3回駿台・ベネッセ大学入学共通テスト模試 にかけて、
国公立大学志望(5教科)から私立大学志望(3教科)に
志望変更した高3生の

9月→11月の英語、3教科総合の模試 平均偏差値の差

9月 ⇒ 11月	英語 R	英語 L	3教科 文系	3教科 理系	勉強する科目数を5教科から3教科に絞って、残った科目にまわせる勉強時間は増えたはずなのになぜか成績は伸びていない…
国公立大 私立大 志望 ⇒ 志望 5教科 3教科	-0.7	-0.5	-0.7	-0.5	3732名のデータ

共通テスト型（マーク模試）は得点できるようになつたが、二次型（記述論述模試）の成績が思うように伸びない。

これは、現役生に多いパターンで、悪い傾向ではなく、期待できる！

基礎力が付いてきた証で、これから二次型の答練を重ね（問題を解き→添削してもらう）、答案作成力・論述力を磨くことで、二次力がアップしていく！